



株式会社 ファルマ

弘前市北横町 19-1

Tel 0172-37-6016(代)

発行：編集委員会

印刷：小野印刷

■ 第 194 号 ■

新年懇親会写真コンテスト

ファルマイズム賞決定!!

楽しそう!

フレッシュ感
抜群!



みんなで、はいポーズ♡

笑顔が
素敵♡

仲良し感が
伝わる

撮影した写真をファルマイズム委員で選考させていただきましたのでご紹介させていただきます♪

1月10日(金)弘前パークホテルで株式会社ファルマ2025年新年懇親会を開催しました。

なかよし賞



チームワークばっちり



法被が似合う!



お着物素敵です

自熱賞



全員でじゃんけん大会



知恵を出し合ったペーパータワー



本気度が伺えます

景品give賞



たくさん当たりました!



職場用にget!!



特賞が当たった木村部長

回らん賞



みんなで食べる食事は美味しい!



かんぱ〜い!!



美味しい食事とビールは最高

5年後の経営はどうなるか

取締役事務部長 工藤 敏子

全日本民医連2024年度薬局法人経営学習会が1月31日(金)〜2月1日(土)にかけて東京都で開催され、ファルマからは私と主催側として崎野社長が参加しました。

最初に公認会計士の奥村氏より「中長期損益計画・資金計画の意義と重要性」と題した講演があり、根拠に基づいた中長期資金計画の必要性を学びました。

次に公認会計士の田岡氏による中長期経営計画作成実践セミナーが行われ、2024年度の経営水準が今後とも



学習会の様子(中央奥:工藤部長)

継続した場合に2025年度から5年後の経営はどうなっているか、現状投影シミュレーションによりファルマの中長期経営計画を作成しました。その結果、早い段階で損益赤字と資金流出する可能性があることが分かり、早急に経営改善する必要があることが分かりました。特に作成す

る過程で損益だけでは見えない中長期的な資金繰りを把握することができ、なぜ「必要利益」を確保しなければいけないのかあらためて理解することができました。また、中長期経営計画作成後は分析レポートを作成し、これをグループ内の各法人幹部と相互点検することで新しい気づきもあり、大変有意義なものとなりました。全国的に薬局経営は厳しい状況に置かれています。中長期経営計画から法人の経営的将来像を認識し、事業継続を可能とするための経営改善を追求していくことが大切だと感じました。

安心して老いることが出来る社会を目指して

居宅介護支援事業所ファルマ 主任 伊勢 充

2月1日(土)弘前市文化センターで「弘前市の介護保険を良くする会」の総会が開催され、その学習企画として上野千鶴子氏を講師に招いて「どこまで進む 介護崩壊の介護する人・される人が共に大切にされる制度へ」というテーマでWEB講演が行われました。会場参加者は54名、ZOOM参加は13名と多くの方の参加があり、関心の高さが伺えました。

特に印象に残る言葉は「無知は罪」です。権利と制度は黙って向こうから歩いてこない、要求しないと得られない。しばしば要求したものは違うものが差し出される、手に入れたと思っただけでさえ、

知らないうちに足元から掘り崩されていく。監視し、戦い続けなければ、今あるものを守ることにすら出来ない。というフレーズが、介護保険のみならず、私たちの身の回りのことすべてに共通することであり、重要なことだと胸に刺さりました。

そしていちばん重要なこと。それは、おかしなことはおかしいと声を上げること、行動することが今私たちに求められていることです。安心して



多くの方が集まりました

隠されてきた水爆実験被害の事実

黒石薬局 津川なつみ



12月21日(土)、「ビキニフォー」

アウト被ばくからみる医学的真相をテーマにビキニ事件オンライン学習会が開催されました。講師は被爆者医療に携わってきた福島医療生協ふれあいクリニックさくらみず医師の齋藤紀(おさむ)氏で、NHKスペシャル「第四の被ばく」に出演されていた方で

2018年、私は静岡県で開催された3・1ビキニデー

に参加したのですが、被ばくした方々の症状についてその時よりも詳しく知ることができました。被ばく25日後の医師の所見では肝臓肥大や白血球減少、幼若骨髄細胞などの症状が複数名いたそうです。多くの漁船員に健康被害が生じた事実はアメリカと日本政府によって隠されてきたことはとても許し難いことです。

このような悲劇が二度と繰り返されぬよう、民医連職員の一人として署名や運動に取り組みたいと思います。

写真紹介

浪岡野沢公民館へ出張出前講座

2月4日(火)浪岡野沢公民館で青森市浪岡野沢公民館主催の出張出前講座が開催されました。ファルマ弘前薬局の葛西副薬局長が講師を務め、15名の参加者へ「『医食同源』薬膳について」をテーマに話しました。



講義中の葛西孔明副薬局長(写真奥)

県連青年雪かきボランティア

2月8日(土)青森民医連青年委員会主催の「青年雪かき隊」が開催され、ファルマからはファルマ浪岡薬局の平尾薬剤師、ファルマ弘前薬局の中西さん、乗田さん、三上さんが青森地区と弘前地区に分かれて参加しました。みんなで声を掛け合いながら高く積まれた雪を除雪しました。



みんなで頑張りました! 高齢者の方に喜んでいただけました

五所川原支部へ出張出前講座

2月9日(日)つがる富士見荘で津軽保健生協五所川原支部主催の出出張出前講座が開催され、31名が参加しました。「眠くなる話もう眠剤はいらない」をテーマにファルマ一ツ谷薬局の西沢薬局長が講義を行いました。



「眠くなる話」のテーマでお話ししました

黒石薬局健康教室

1月25日(土)ちとせ会館で黒石薬局主催の健康教室を開催し、16名の参加がありました。今回は成田薬剤師の「眠くなる話」、ファルマ浪岡薬局の雪田主任補佐による「苦い薬を美味しく飲もう&OTC商品の紹介」の二本立てで行いました。



講義中の成田薬剤師

8才のわたし

藤代薬局 薬剤師 水木 啓介

撮影日が不明ですが、写真の雰囲気から見て私が小学校3年生頃のものだと思います。当時弘前市西ヶ丘に建てられていた社宅で、友人たちと外で遊んでいたのですが、当時はありとあらゆるものが高く大きく見え、排水管のようなパイプを伝って小屋の屋根に登ってみたり、建物の外壁の一番高いところをめがけてゴムボールを蹴飛ばしてみたり、敷地内を自転車で競走してみたり等、このご時世では周辺住民から苦情が寄せられるようなことを友人達とたくさんしていました。

また、ゲームカセットやコントローラーを持参の上、家に集まってテレビゲームをしたりもしていました。インターネットが普及している今ではあまり見られないものかもしれませんが、当時の私達にとってはこれらが当たり前の遊び方でした。もしこの社宅に住んでいなければ、外に出て思い切り体を動かしたり積極的に誰かと遊んだりすることはなかったかもしれません。その社宅は既に取り壊され、別の建物に変わってしまいましたが、今でもたまに夢に出てくるくらい、私にとって忘れられない思い出となっています。



忘れられない思い出